

平成25年度 小千谷市特別活動部 活動報告

部長 関 昌子

※小千谷市教育研究会では、会員数の関係から4教科部会（国語・算数・社会・理科）に全員が所属するため、特別活動部としての活動はありませんが、教育課程伝達講習会を実施しています。

1 研究主題

学習指導要領の着実な実施

2 研究の概要

教育課程伝達講習資料をもとに、各校で趣旨の徹底を図る。

3 研究の実際

(1) 方法

教育課程伝達講習会受講者 小千谷小学校 糶谷美佳教諭より、市内の各校に要点をメール送信し、各校の校内研修で活用する。

(2) 伝達内容

水沢小学校 片桐里香教諭の実践から

- ①活動を通して一人ひとりの自尊感情を高め、集団への所属感を深める。
 - ・友達に認められたり、成就感を味わったりする経験は自尊感情を高めることができる。そのような活動を考え、学習を組織していくことが大切である。
- ②話し合いや体験を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり発表し合ったりする活動が充実するように工夫する。
 - ・教師が子どもたちに振り返りの記述内容、表現の仕方のよさを紹介したことにより、よいモデルがたくさん示され、書き方に向上が見られた。
- ③評価のあり方を考える。
 - ・「目指す子どもの姿（活動の評価規準）」を明確にする。ただし、1単位時間ごとに評価規準を設ける必要はない。
 - ・評価方法を多様にする。（振り返りカード・学級会カード・発言・活動の様子・チェックリストの作成）
 - ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 小学校 特別活動」（文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター：平成23年11月）を参考にする。
- ④指導の先生から
 - ・その地域における伝統や文化・特色を取り上げた活動は、地域を大切にすることにつながる。地域に飛び込み、地域を知り、地域を生かす活動を考えてほしい。
 - ・思いや願いが醸成されると、話し合いが活発に行われる。思いや願いが膨らむような活動を見つけ、膨らまし、実践してほしい。
 - ・時数が心配である。本実践のように「総合的な学習の時間と特別活動」など教科・領域を横断するような計画も視野に入れる。

4 成果と課題

特別活動部としての市内共通の取組はないが、「おぢやっ子教育プラン」として「心豊かにたくましく生きる 小千谷の子ども」をめざして、小・中学校で取組を行っている。